

## 平成 15 年度園芸相談集計記録及び自然体 験活動対応実績

平成 15 年 4 月から平成 16 年 3 月にかけてあった、植物に関する相談の受付記録を示す。受付件数は 3,908 件で、その内容を表 1～3 と図 1～4 に示した。

月別相談件数は例年多い 4、5 月と秋のほか、2、3 月の割合も多くなっていた（図 1）。特に 2 月の増加が目目を引く。2 月に行われた「春をよぶランらんまつり」での相談件数が例年と比べて多かったのが原因と考えられる。

受付方法別に見ると、例年通り電話が 83% と圧倒的に多かった（図 2）。来園は件数は少ないものの例年と比べて増加している。

内容別に見ると、花木、草花、庭木の管理が多かった（図 3）。また、数年前から人気が出ているサンセベリア（トラノオ）の管理や開花についての問い合わせが相変わらず多い。

作業別では特に例年と変わった特徴は認められなかった（図 4）。

表 4 には、平成 15 年 4 月から平成 16 年 3 月にかけて対応した自然体験活動の件数を示した。実施団体は前年

度の 43 から 49 へ増加しているが、人数は 6160 名から 3049 名へと半減した。これは、ガイドボランティアの充実により園内ガイドの希望への対応が容易になり、大人のグループによる活用が増加したことと、学校の校外活動のための予算が削減され植物公園を利用する学校が減少したことが、大きな理由として考えられる。集計途中であるが、平成 16 年度は学校の利用がさらに減少している。平成 13 年 3 月にボランティアスタッフによる園内ガイドが始まって以来、講堂使用の重複申込など特殊な場合を除き、申込のあった全ての団体に対して園内の植物のガイドの要望に対応できる体制となっている（講堂の重複申込についても時間をずらすなどして可能な限り受け入れを行っている）。トピック性の高い植物の紹介、解説なしでは見逃してしまいがちな植物の観察、季節ごとの植物の観察など、大人だけでなく子どもたちでも植物への関心が芽生える機会を提供している。しかし、残念ながらその効果はうまく出ているとは言えない。PR の時期を見直し（毎年、4 月に市内の小中学校に案内を配布している）、体験メニューの表示の仕方を、興味深いものを目立つようにレイアウトするなど工夫し、参加団体がバス代を集めてでも来たくくなるようなきっかけ作りが必要と思われる。

（濱谷修一 記）

表 1. 月別・方法別受付件数

項目・月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話	286	467	340	290	188	256	245	270	178	202	229	298	3,249
来園	6	29	25	32	19	14	111	12	10	8	105	31	402
手紙	6	4	12	4	1	7	1	4	5	1	4	0	49
その他	198	1	0	1	0	2	1	0	0	1	4	0	208
計	496	501	377	327	208	279	358	286	193	212	342	329	3,908

春のグリーンフェアはその他、秋のグリーンフェアと洋ランクリニックは来園に記入

表 2. 月別・内容別受付件数

項目・月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
庭木	84	70	70	59	30	50	71	55	36	43	50	36	654
花木	109	138	92	78	35	44	67	35	49	41	51	92	831
盆栽	4	5	0	5	0	0	0	1	0	2	5	4	26
果樹	49	54	30	22	14	20	29	29	13	37	19	25	341
草花	101	103	76	59	66	74	95	74	35	28	48	66	825
山野草	32	10	10	14	7	16	14	13	6	12	11	23	168
ハーブ・野菜	14	10	23	8	7	12	11	13	6	2	2	12	120
観葉植物	39	40	37	31	19	28	20	29	20	23	39	26	351
サボテン・多肉植物	14	8	13	12	8	14	22	16	6	8	10	12	143
洋ラン	28	32	11	17	6	5	9	8	8	10	88	19	241
ラン(洋ラン以外)	8	4	5	4	2	0	4	0	1	0	6	2	36
その他	14	27	10	18	14	16	16	13	13	6	13	12	172
計	496	501	377	327	208	279	358	286	193	212	342	329	3,908

表 3. 月別・作業別受付件数

項目・月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
管理	169	160	104	85	56	92	105	92	62	59	116	86	1186
植付・植替	60	72	44	38	24	38	58	41	23	22	46	65	531
病害虫	66	77	55	62	32	46	52	43	22	35	33	30	553
繁殖	23	30	28	20	20	19	29	17	14	16	19	19	254
整枝・剪定	43	55	53	40	17	23	31	31	23	25	34	25	400
施肥	32	19	18	19	12	14	14	23	18	24	40	40	273
その他	103	88	75	63	47	47	69	39	31	31	54	64	711
計	496	501	377	327	208	279	358	286	193	212	342	329	3,908

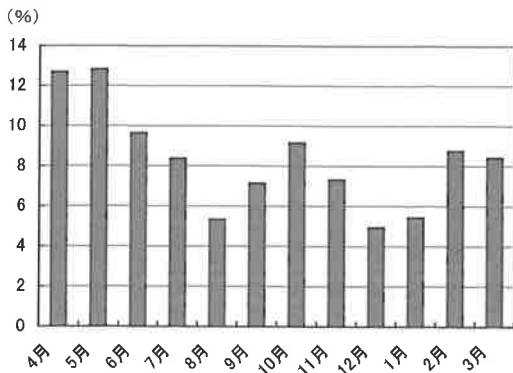


図1. 月別割合

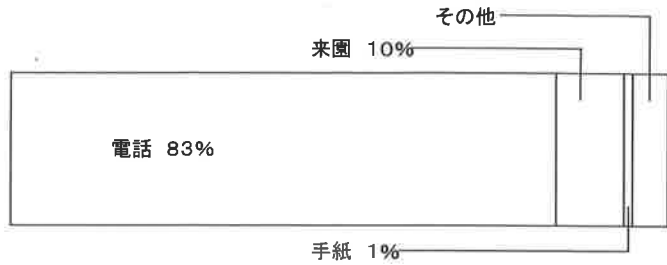


図2. 受付方法別割合

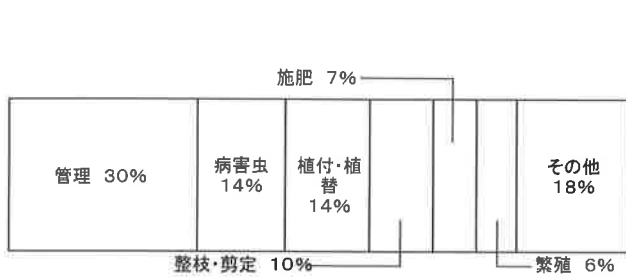


図4. 作業別割合

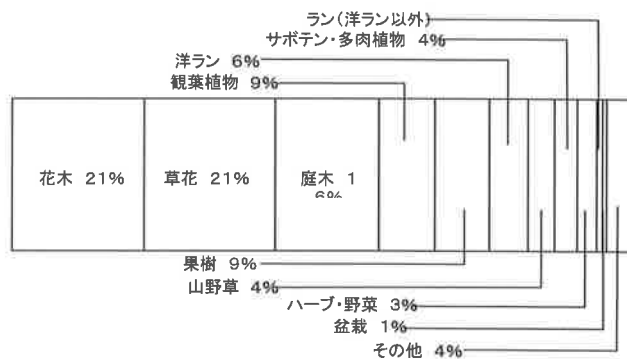


図3. 内容別割合

表4. 平成15年度自然体験活動実施記録

小学校	中学校	その他	計
15校 (1584名)	4校 (716名)	30団体 (大人642名、子ども107名)	49団体 (3049名)

うち  
 職員対応 18団体 1871名  
 ボランティア対応 29団体 1081名  
 実施団体が用意した講師による指導 2団体 97名

## 植生調査及び収集その他

(平成15年度)

平成15年4月から平成16年3月までに36回、延べ69人が調査を行った。

### (1) 調査

植生調査(暖帯照葉樹、ブナ林、湿原の調査など)、モザイカルチャー、花壇苗など

### (2) 収集

種子・果実の収集(種子交換用など)  
 高木哲雄氏の標本  
 展示用資料の収集(ペゴニア、セントポーリア、植物日本画)など

### (3) 広報

出張広報  
 出張展示(ラン展)  
 教材生物バザールなど

### (4) その他

染色体学会など

(濱谷修一 記)

広島県外

平成15年

4月27日 山口県光市、(広島県佐伯郡大野町)

5月20日 山口県光市

6月13~21日 モントリオール市(カナダ)

6月18日 岡山県哲西町

6月29日 岡山県哲西町